

これまでの「地域学校協働活動」の効果

子どもたちへの効果

子どもたちは、信頼できる大人との関わりを持ち、ほめてもらったり、認めてもらったりすることで、自分たちや周りのことを愛し、思いやる気持ちが育ちます。

さらには、より多くの地域の人たちが子どもの教育に関わっている学校ほど、全国学力・学習状況調査における正答率も高いという結果が出ています。

地域への効果

地域課題の解決につながる活動を通じて、地域づくりの担い手が育成されるとともに、地域の教育力（地域行事等への参加や協力体制）が向上します。

自らの知識や技能、学びの効果が教育の場で活かされることで、相互に高めあい、地域住民の生きがいや自己実現の機会がつけられます。さらに、地域住民同士が交流を深め、地域に緩やかなネットワークが構築され、地域コミュニティの再生につながります。

学校への効果

地域と学校が子どもの成長に向けた目標を共有することで、「社会に開かれた教育課程」の実現が図られます。教育や子どもたちに対する責任と役割を学校が地域と分かち合うことで、学校の教育活動に対する理解者と支援者が増えています。

各種の学校行事に多様な地域の方々の協力が得られたことで、教育活動が充実し、子どもが学んだことを生かす場になっています。

「かごしま地域学校協働活動」Q & A

Q 文部科学省は、「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図るという方向性を示しているが、体制の構築をどのように捉えればよいのか。

A 学校運営協議会、地域学校協働本部等の整備状況はそれぞれの市町村や学校の実状によって異なりますが、既存の組織を有効に活用してください。その中で地域、関係団体、学校等が緊密な連携を図り、目指す子ども像を共有して、子どもたちの成長を育む多様な活動を連携・協働して実施することで、更に教育活動の充実や地域の活性化を図ることができます。

また、学校運営協議会と地域学校協働本部を一体的に進め、相互に連携していくことにより、次のようなことが期待されます。

- 地域と学校の組織的・継続的な連携・協働体制の確立
- 子どもの教育に関する課題や目標等の共有による当事者意識の高揚
- 学校運営の改善と連動した地域学校協働活動の推進

Q すでに地域の社会教育関係団体は、互いに緩やかな連携を図っており、既存の形で協働活動がなされているが、新たに本部を設置する必要があるのか。

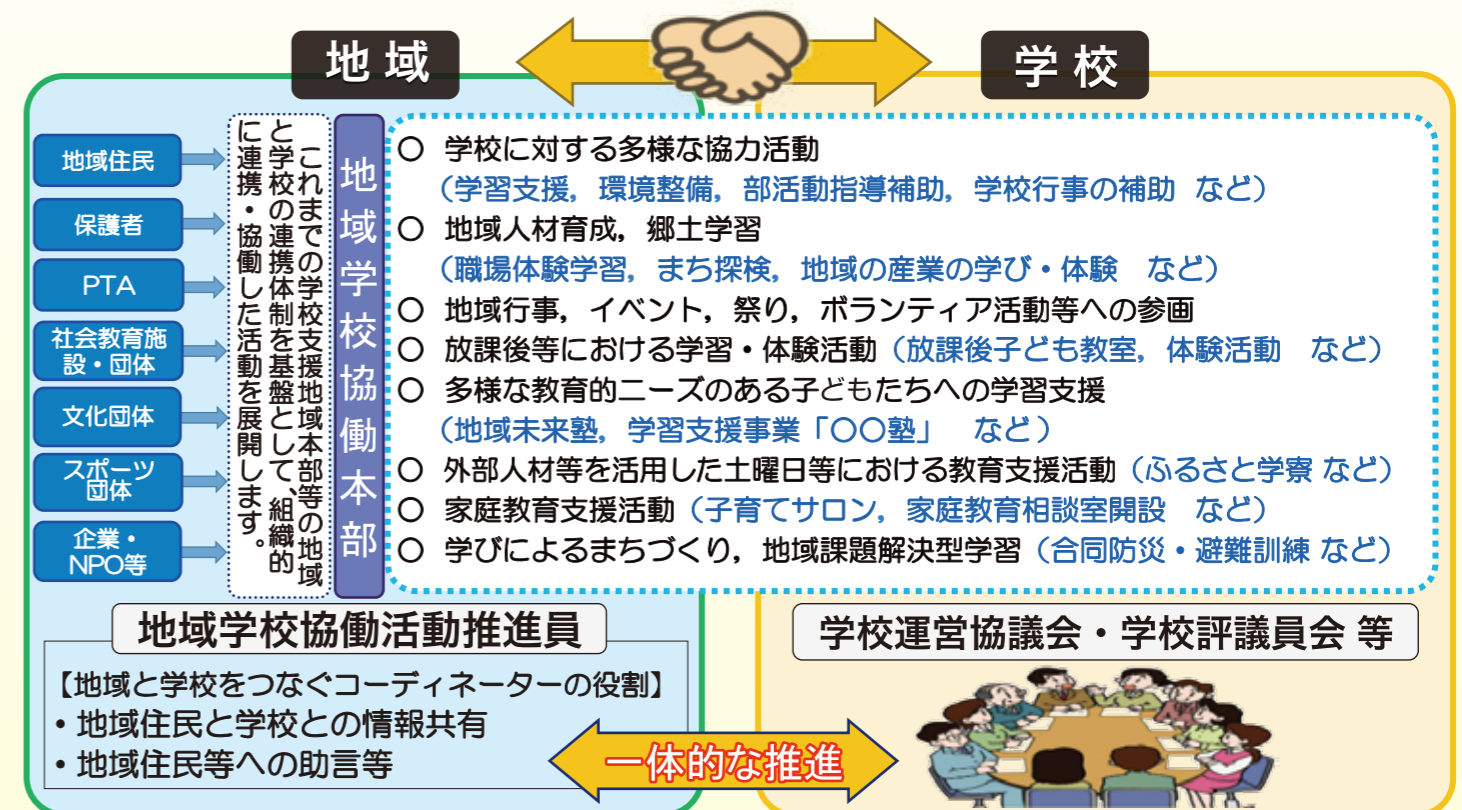
A 本部を設置することにより、改めて、地域で育む子どもの姿を共感・共有する場となります。そして、より多くの地域住民の参画を得て、地域の多様な関係団体が連携・協働して取り組む体制が充実し、地域全体で子どもたちの成長を支える活動が、総合化・ネットワーク化され、地域創生を推進することにつながります。

かごしま地域学校協働活動

～地域で未来を担う子どもたちの成長を支える～

「地域学校協働活動」とは

より多くの地域住民や団体等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動です。



子どもたちは地域の素材を生かした学びや地域住民等とのふれあい活動等をおして、地域の良さの理解（郷土愛）、コミュニケーション能力の育成など、将来の地域を支える人材育成につながるよ。

より多くの地域住民が、子どもたちの学びや成長を支える活動をおして、住民相互の絆が強くなり、地域が元気になるよ。

「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」



鹿児島県教育委員会



「かごしま地域学校協働活動」

～子どもたちの学びや成長が地域の大きな力に～

「社会に開かれた教育課程」の実現のための
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

新学習指導要領に基づき、学校の教育課程において地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等に社会教育との連携を図ったりして、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら「社会に開かれた教育課程」を実現させる。

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会制度を導入した学校)

かごしま地域学校協働活動

学校と地域住民が教育目標やビジョンを共有しながら、学校運営に地域の意見を取り入れることで、学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを進める。

より多くの地域住民や幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域の創生を図る。

「地域とともにある学校づくり」

「学校を核とした地域づくり」

「目標の共有」と「活動の連携・協働」

こんな子どもたちに育てたい！

学校教育活動の充実

地域課題の解決

人材の育成・地域の創生へ



地域と学校がパートナーとなり、子どもたちの育成について熟議し、双方向的に「連携・協働」した活動

生冠中学校学校運営協議会
(いちき串木野市立生冠中学校)

学校では、子どもたちに身につけさせたい資質や能力を学校教育目標に位置づけ、その具現化に向けて学校運営協議会で協議し、地域学校協働活動に反映している。

また、学校は地域学校協働活動への広報・周知に努め、地域が学校に協力したくなるきっかけづくりに励んでいる。

地域では、支援員が生徒の活動を支援するばかりでなく、行事の目的やこれまでの経緯、地域住民として果たすべきことなどを話す機会を設定することで、生徒にとっても行事の意義が高まると同時に、支援員の資質向上につながっている。



【熟議】地域学校協働活動推進員と学校の全教職員との情報交換・共通理解を図っている。



【小学校の運動会】中学生が運営面での協力(ボランティア)をしている。

地域のコミュニティとしての「公民館」を核に、地域と学校での学びと活動を生かした郷土学習・人材育成

かのや学校応援団
串良地域学校支援活動
(鹿屋市立串良小学校・串良中学校)

地域の多くの人たちの「集う」「学ぶ」「結ぶ」役を担っている公民館が中心となり、既存の公民館運営協議会を活用し、テーマを決めて協議している。串良小学校・串良中学校の学校運営協議会事務局及び担当教員と公民館のコーディネーターとで協議の場を設け、学校と地域・関係団体とで連携・協働して実働的な活動になるよう取り組んでいる。

平日の放課後(週1日)と土曜日の子どもの居場所づくりとして、教員や地域の人たちを指導者に、公民館に寺子屋を開設し、学校の学習では学べない多様な体験活動にも取り組んでいる。



【陶芸体験】市民講座で陶芸を学習している方たちが指導者となって活躍している。



【郷土芸能「棒踊り」へ参加】子ども会、町内会、保存会の方が指導を担当している。

既存の組織や伝統的な活動・素材などを地域のたからとして上手く生かし、子どもたちの学びや成長を支える活動

伊崎田校区青少年育成活動
(小・中一貫校伊崎田学園
伊崎田小学校・伊崎田中学校)

地域が一体となって子どもを育てるという「伊崎田校区青少年育成会議」が組織され、校区公民館を中心に、学校、地域、保育所、関係団体等が連携して活動を行っている。

地域行事である伊崎田相撲や校区内神社の神舞、伊崎田和紙の作成等、地域の指導者等を中心に、指導・伝承活動に関係団体も一緒に取り組んでいる。青少年育成の日(毎月第3土曜日)には、校区公民館が中心となり、教員、保育所、長寿会など、地域の人たちを指導者に「キラリ輝く『しびしっ子』育成事業(土曜体験広場)」を開催し、多様な体験活動も実施している。



【ピザ作り】地域の方々が先生となって、子どもの活動を支援している。



【伊崎田相撲】中学生が化粧まわしを作成するなど、学校と地域が一体となって伝統行事を盛り上げている。